

学校だより
平成24年
5月 7日

はるにれ

海老名市立
有馬小学校

校庭の「ハルニレ」や花壇の花々も春色に染まり、まさに「春たけなわ」です。皆様におかれましても、何かとご多忙な中にも「春うらら」な心地よさをご享受のことと拝察いたします。

「ありまっ子」は、おかげさまで、新しい友達、新しい先生、新しい教室……………等々様々な変化にもだいに慣れてきて、いよいよ本領発揮といったタイミングにさしかかってきました。

とはいえ、4月の緊張や疲れが出やすい時期でもあります。ご家族皆様、体調には十分ご留意ください。



発足しました！ 「ありまっ子応援団ネットワーク」

この「はるにれ」においても、機会あるごとに、触れさせていただいてきたことではありますが、「社会環境、経済環境、自然環境……………」今、子ども達がより良く育つ環境としては年々難しくなっている現実があります。

また、学校教育においては、基礎基本の確実な定着に加え、「思考力・判断力・表現力」等の一層の充実が求められ、それらの達成に向けての授業改善や工夫ある行事等の取り組みは急務とされています。

さらには、地震等の自然災害や交通、防犯の分野に

おいても、地域と一体となつての指導の充実や組織対応の再編等が求められています。



このように、課題山積の中、「ありまっ子」が「より安全に、より安心して、より楽しい学校生活」が送れるようにと、地域の方々や市教育委員会が進んで手を上げてくださり、23年度より、「地域代表者、教育委員会代表者、有馬地域コーディネーター、あそび

っ子クラブ有馬代表者、学校ボランティア等代表者、PTA代表者、サポータークラブ代表者、学校代表者」等々のメンバーにより「ありまっ子応援団ネットワーク設立準備会議」において話し合いを積み重ねてきました。

趣旨や目的からはじまり、運営組織づくり、内容等々、話し合いを重ねる中で、取り組みにあたっての課題や実践等についての共有化を図ってきました。

正式に発足したばかりですので、今すぐに具体的な活動に入れるといった状況ではありませんが、まずは以下に組織や今後想定される活動の例等、その概要をお知らせいたします。



今後、「ネットワーク通信(仮称)」等にて、ご支援いただきたい内容に応じて、「教育支援ボランティアさん」の募集等を順次行っていきたいと考えています。ぜひ積極的なご支援、ご協力のほどお願いいたします。

1、組織名 「ありまっ子応援団ネットワーク委員会」

委員長 鈴野 トミ(地域支援者)

副委員長 森 征男(地域支援者)

事務局 木村 和雄(地域支援者) 高村 恵(市教育委員会) 石井 正雄(有馬小学校 教頭)

(敬称略)

2、支援活動例

- ★高学年 家庭科のミシンを使っての学習や調理実習等の補助指導
- ★花壇の整備や樹木、農作物、草花等の世話(児童と共いの活動も含めて)
- ★授業における専門分野での補助指導(各教科等指導全般にわたっての補助指導)
- ★PTA活動(主にイベント)の補助
- ★校外学習(地域中心)の定位置での安全見守り活動や移動を伴う引率補助
- ★学校行事やサマースクール等の活動補助
- ★学校施設、備品等の修理・営繕、教材作りの補助……………等々…ほんの一例です。

ありまっ子のめあて(左)

あいさつレンジャー(右) 若林 優心君のデザイン

